

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名: 山形県

事業の名称: 山形広域都市計画道路3・3・5号

山形停車場松波線整備事業

実施都市名: 山形県山形市

事業目的

山形広域都市計画道路3・3・5号山形停車場松波線(主要地方道山形停車場線)は、JR山形駅から一般国道13号、山形県庁に至る県都山形市のシンボルロードとして、また、山形自動車道山形蔵王ICへのアクセスとしての幹線道路です。

しかし、本事業区間は中心市街地として交通量が増加している状況で、現道の幅員が狭くかつ歩道がない未整備区間のため常時交通渋滞を招いている状況であったことから、未改築区間の4車線化の整備を行うことにより、中心市街地の都市機能の向上と交通混雑の解消を図るものです。

事業概要

事業名称:山形広域都市計画道路3・3・5号

山形停車場松波線整備事業

路線名:3・3・5号山形停車場松波線整備事業

事業箇所:山形市諏訪町～あこや町

事業延長:1,422m

幅員:27～29.15m(4車線)

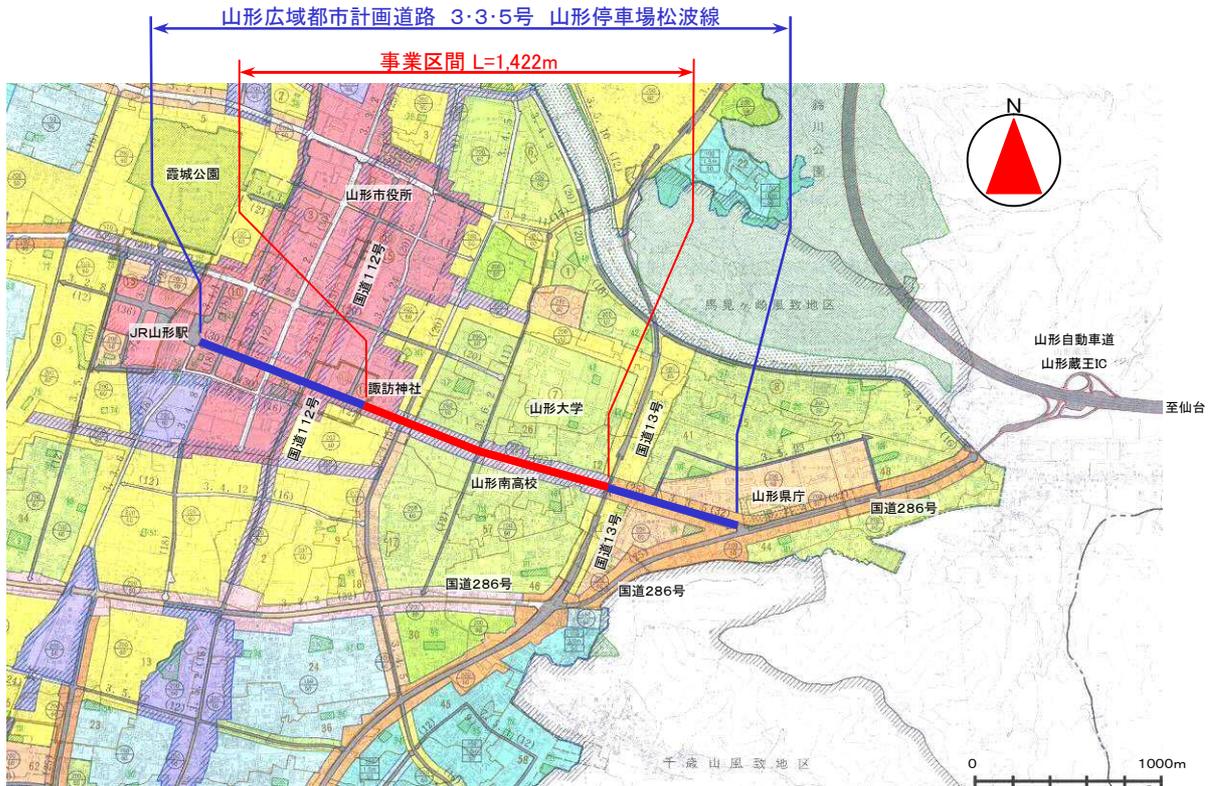
事業費:約195億円

事業実施期間:平成元年度～平成22年度

本事業は、県都山形市の中心市街地に位置する諏訪町からあこや町の区間について、狭隘で歩道未整備区間を含む2車線の現道を両側歩道の4車線に改築したものです。

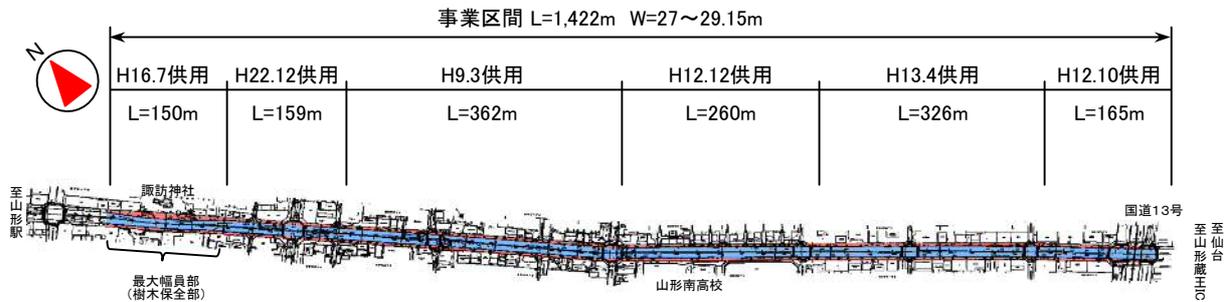
整備にあたっては、道路交通機能の向上のみならず、長年受け継がれてきた自然や歴史、文化といった貴重な遺産とのかかわりを見つめ直し、人々の心に残る通りの風景として、目の前に開ける美しい山々の眺望やランドマークとなる樹木などと調和が図られるよう配慮しています。

事業位置図

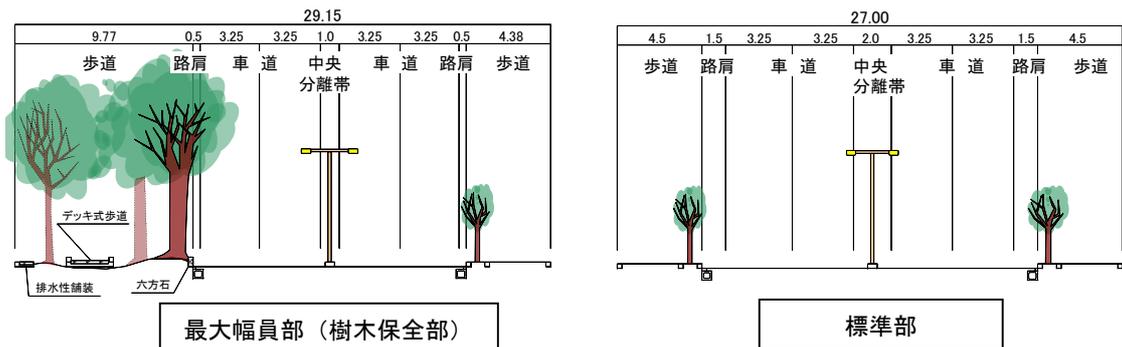


全体図(平面図・側面図・横断面図)

平面図



標準横断面図



最大幅員部 (樹木保全部)

標準部

山形停車場松波線の整備効果アピール資料

○事業概要

事業名: 山形広域都市計画道路3・3・5号
山形停車場松波線整備事業
路線名: 3・3・5号山形停車場松波線
事業箇所: 山形市諏訪町～あこや町
事業延長: 1,422m
幅員: 27～29.15m(4車線)
総事業費: 約195億円
事業期間: 平成元年度～平成22年度

○交通量調査結果

平成22年センサス(平日12h)
歩行者類 769人
自転車類 1,281台
自動車類 14,339台

「整備効果」

県都山形市中心部から高速道路ICへの主要アクセス道路となる交通流の大動脈

○混雑時の旅行速度が向上 16.0km/h(H9) → 23.1km/h(H22) 約1.5倍に向上

○道路利用者の増加

山形市と隣県仙台市間の通勤・通学、企業活動、観光、買い物などの交流人口は、山形自動車道の供用以来増加が続いている。

本路線が段階的に供用開始をするにしたがって、市街地中心部の渋滞緩和と交通容量の増加が図られ、それによって交通の定時性が改善されていった。

この時期に、本路線を通過する山形仙台都市間高速バスの利用者は急速に増加しており、年間130万人と県総人口を上回っている。

仙台・山形都市間高速バス輸送人員の推移



「その他の事業効果」

広幅員の歩道と無散水消雪施設や電線地中化、眺望やアメニティに配慮した道路付属施設等の整備により、中心市街地における安全で快適な歩行空間を確保



歩道の無散水消雪施設の効果



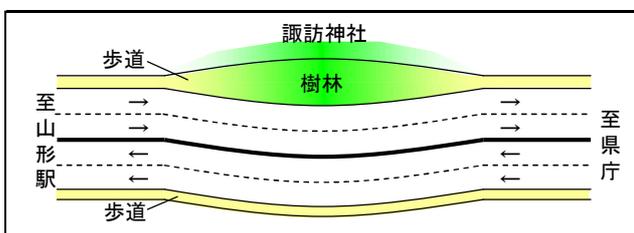
シンプルで眺望を阻害せず、かつ温かさを演出する道路照明



くつろげる空間を演出する自然石のベンチ

地域の自然や歴史、文化といった貴重な遺産との調和を図った整備を実施

事業区間内には寺社が多い地区があり、山形市の保存樹林に指定されランドマークともなっている大ケヤキがあるが、本事業では都市計画の変更も行いこれらの樹木を事業区域内に取り込み保全対策をし、合わせて道路線形も樹木を回避する形に変更し、地域の自然や歴史、文化の保存と円滑な交通の確保を両立させた。



事業前写真



事業後写真

